



令和2年12月16日
海上保安庁

令和3年、海図150周年を迎えます ～海図150周年記念 ロゴマークを制定～

明治4年(1871年)、我が国が単独で、近代的技術をもって、海洋調査から海図作製までを一貫して行う本格的な水路業務を開始し、明治5年(1872年)に海図「りくちゅうのくにかまいしこうのず陸中國釜石港之圖」を刊行しました。

令和3年は、近代的水路業務を開始してから150周年を迎えることから、各種の記念事業を実施することとし、この期間に使用するロゴマークを制定しました。

国民の皆様には、航海の安全にとって重要な海図を刊行するなどの海洋情報業務に対する理解を更に深めていただくため、令和3年は海図150周年を記念した各種事業を実施する予定です。この期間、当庁で作成するポスターやパンフレットなどに海図150周年記念ロゴマークを使用します。

ロゴマークデザイン



【デザインイメージ】

水路業務が積み重ねてきた歴史と技術の安全の絆を綱で表しています。

安全な航海の道しるべであるコンパスで、全方位で海の安全を守る姿勢と過酷な状況でも花を咲かせ、み実^みは人々に役に立つ梅の花の精神で積み重ねてきた努力を表現しています。

150年の水路業務発展の絆を未来へとつないでいくデザインとしています。

<海図150周年記念ロゴマーク使用期間> 令和3年1月1日(金)～令和3年12月31日(金)

また、海図等の水路図誌に我が国が作製したものであることを示す印章(エンブレム)についても、ロゴマークをもとにデザインを変更します。新しい印章は、令和3年1月から使用します。



現在の印章



新しい印章

※“Japan Chart 150th”は令和3年のみ使用